

科目名: <b>産業カウンセリング概論</b>		科目コード	EB37
科目主査: <b>椎野 睦</b>		単位	4
担当講師: <b>椎野 睦、森川 友晴、 田中 慎太郎</b>		配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
<p>産業界において、働く現場の変化や雇用の流動化など、その悩みは多岐にわたり、従来のような集団的で画一的な管理・対応では対処することが難しい状況です。個別の職場に対応できる「産業カウンセリング」に関する幅広い知識、スキルを持った人材の育成が急務と言えます。本科目では、「産業カウンセリング」についての役割と必要生について学習し、産業界で働く人たちのためのカウンセリングのあり方について、「メンタルヘルス支援」および「キャリア支援」の視点を中心に、概論的な学習を行います。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングし、質問ができるように準備してください。		
テキスト	『社会人のための産業カウンセリング入門』今村 幸太郎 他, 産業能率大学出版部, 2015年		

この科目の到達目標	<p>①産業分野におけるカウンセリングの歩みと現状を理解し、カウンセラーとしてできる援助などの方法について理解できる。</p> <p>②企業内で起こる問題や課題を捉え、働く人の抱える問題点について産業分野におけるカウンセラーとしてどう対応するのかを考えることができる。</p> <p>③産業分野におけるカウンセラーにとって、メンタルヘルスとキャリアを支援する際に有効な理論を理解できる。</p>
成績評価の方法	<p>成績評価は、提出課題、最終試験の得点に加え、授業態度も考慮し、評価の対象とします。</p> <p>最終試験は、教科書および2日間で学んだところから出題しますので、授業をきちんと聴き、自分なりの考えをまとめておいてください。</p>

事後学習	<p>参考文献を熟読し、より広く深く知識を深めることをお勧めします。また日常の社会生活について振り返り、学習した知識や技がどのように働く人のメンタルヘルス支援やキャリア支援に役立つかを考察してみましょう。</p>
事後学習の参考文献	<p>『うつからの社会復帰支援』うつ・気分障害協会 編, 岩波書店, 2004年</p> <p>『産業カウンセラー養成講座テキスト(第6版)』日本産業カウンセラー協会, 2012年</p> <p>『働く人のためのキャリア・デザイン』金井 壽宏, PHP新書 , 2002年</p>
スクーリング受講時に用意するもの	<p><input checked="" type="checkbox"/>テキスト <input checked="" type="checkbox"/>筆記用具</p>